

基本施策1 多様な交通手段を織りなし、移動を円滑につなぐ公共交通

個別施策	事業展開スケジュール									実施主体	H30・R1 取組実績	R2 取組予定		
	(前期)			(中期)			(後期)							
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8				R9	
施策1 持続可能な公共交通網の形成														
(1)路線バスやコミュニティバス路線の再構築 ・複数事業者間で重複する路線の再編 ・地域の需要に対応したコミュニティバスの再編	検討・準備	実施	継続									・地域の需要に応じたバス再編のために、バス車内に乗降人数の調査装置を導入した。[バス事業者] ・沿線企業・大学・沿線のニーズに即したダイヤ編成を構築した。[バス事業者]	・乗降人数の調査結果からの運行ダイヤの再編成の検討をする。[バス事業者] ・利用状況を鑑み路線バス・コミュニティバスの再編の検討する。[バス事業者]	
(2)バスの路線確保に向けた支援の検討 ・基幹路線などのバス路線への一部補助の検討 ・公共交通機関の利用促進を図る支援の検討	検討・準備	実施	継続									・既存の補助制度の在り方等について検討を実施した。[県] ・国庫補助(地域内ファイダー系統)として、H30年度=4,446千円、R1年度=10,908千円の補助であった。[国]	・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえたバスの課題検討ワーキングを行い、支援検討を実施する。[県] ・R2年度以降も国庫補助を行う。[国]	
(3)ICTの活用や自動運転技術の導入検討 ・スマートフォンのGPS機能を活用した効率的なタクシー配車アプリの活用 ・バス等の自動運転技術の活用検討	検討・準備											・滋賀県とのMaaSの取り組みへの協力を行った。[バス事業者]	・「MaaS」等の事例研究を行い、ICT活用や自動運転技術の導入を検討する。[市] ・滋賀県とMaaSの取り組みの協力を継続して行う。[バス事業者]	
施策2 連続性のある道路環境整備														
(1)公共交通による駅へのアクセス強化 ・主要交差点周辺の道路改良 ・信号機の運用見直しの検討	検討・準備	実施										・道路整備アクションプログラムに基づき対策を実施した。[県] ・周辺の交通状況に応じた信号周期の見直しの検討、実施をした。[交通管理者]	・道路整備アクションプログラムに基づき対策を実施する。[県] ・引き続き、周辺の交通状況に応じた信号周期の見直しの検討、実施をする。[交通管理者]	
(2)駅前ロータリーの機能性の向上 ・駅前ロータリーの機能の見直し ・自家用車の駅前ロータリーへの進入規制、誘導の検討	検討・準備	実施										・「南草津駅周辺交通対策検討会」において、JR南草津駅周辺の交通渋滞対策案を検討し、社会実験の準備を行った。[交通管理者、国、県、市] ・JR南草津駅周辺へ一般車両交通誘導看板を設置した。[交通管理者、国、県、市] ・「みなくさまつり」において公共交通の利用促進を啓発した。[交通管理者、国、県、市]	・交通規制を伴う社会実験や、バス路線とバス停留所を分散させる社会実験を実施する。[交通管理者、国、県、市] ・社会実験結果に基づき、恒久対策を検討する。[交通管理者、国、県、市]	
(3)鉄道駅周辺のバリアフリー化の推進 ・重点整備地区内での段差の解消、誘導用ブロックの設置等	実施											・重点整備地区内のバリアフリー化整備を行い、歩行者および交通弱者の移動環境の向上を図った。(H30:延長30m、H31:延長160m)[市] ・関係者で対策方法の検討を実施した。[県]	・JR草津駅、南草津駅を中心とする重点整備地区内でのバリアフリー化を促進し、市内の公共公益施設等へ安全に安心して移動できる環境を整備する。[市] ・関係者で対策方法の検討を実施する。[県]	
(4)自転車走行空間の整備 ・既存道路空間を活かした自転車走行空間の整備	実施											・「自転車安全安心利用促進委員会」において、自転車ネットワーク計画の進捗確認を実施した。[市] ・湖岸道路において、青色矢羽根等の整備を実施した。[県]	・「自転車安全安心利用促進計画」の中間見直しに伴い、自転車ネットワーク計画の見直しを実施する。[市] ・市の利用促進計画の見直しに合わせて、必要な整備を行う。[県]	
施策3 鉄道駅における乗り継ぎ利便性の強化														
(1)鉄道とバスとの乗り継ぎ強化 ・鉄道との乗り継ぎを考慮した路線バスダイヤの調整	検討・準備	実施	継続									・可能な範囲でJRの発着に応じたバスダイヤの調整を行った。[バス事業者] ・お客さまに分かりやすいダイヤ設定(ヘッドダイヤ・到着●分後発車)などのダイヤ改正を実施。[バス事業者]	・可能な範囲でJRの発着に応じたバスダイヤの調整を行う。[バス事業者]	
(2)公共交通総合案内情報の整備 ・鉄道駅のデジタルサイネージ等を活用した公共交通総合案内情報の整備 ・公共交通ガイドブックの発行 ・草津市観光案内所における公共交通情報案内	検討・準備	実施	継続									・JR草津駅改札前のデジタルサイネージにおいて、バス乗場や時刻表の情報を発信した。[市] ・草津市観光案内所にて来訪者に対し公共交通機関の情報などを提供した。[市]	・今後も引き続き来訪者に対し観光や公共交通に関する情報を提供していく。[市]	
(3)交通系ICカードの導入検討 ・ICOCA等の交通系ICカードの導入検討	検討・準備												・R2年度中の導入予定[バス事業者]	
施策4 鉄道駅周辺での自転車利用環境の整備														
(1)鉄道駅周辺での自転車駐車スペースの環境整備 ・需要に対応した駅周辺駐輪場の整備	検討・準備・実施											・草津駅周辺の駐輪スペースを確保するため、「草津駅西口第3自転車駐車場」および「草津駅西口第4自転車駐車場」を新設した。また、「草津駅西口第2自転車駐車場」および「草津駅東自転車駐車場」へ自転車ラックを整備した。[市]	・JR草津駅およびJR南草津駅周辺における駐輪スペースの需要を調査し、新たな駐輪スペースの確保の手法について検討する。[市]	
(2)シェアサイクル・レンタサイクル事業の展開 ・シェアサイクル、レンタサイクル事業の展開	検討・準備	実施	継続										・「駅リンくん」等や他市の事例研究を行い、シェアサイクルやレンタサイクル事業について検討する。[市]	
(3)放置自転車の削減対策 ・放置自転車の撤去 ・啓発周知看板の設置	実施・継続												・JR草津駅およびJR南草津駅周辺における自転車等放置禁止区域において、放置自転車の撤去を実施した。[市] ・放置自転車の撤去が多い箇所へ、新たに啓発シールを貼付した。[市]	・放置自転車の撤去、啓発を引き続き実施する。[市]

基本施策2 まちに愛着と誇りを抱き、地域の維持・活性化につなぐ公共交通

個別施策	事業展開スケジュール									実施主体	H30・R1 取組実績	R2 取組予定		
	(前期)			(中期)			(後期)							
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8				R9	
施策1 まちづくりと連携した交通ネットワークの確立														
(1)サイクル&バスライドの環境整備の推進 ・バス停留所近辺への自転車駐車場の整備 ・サイクル&バスライドの利用促進										検討・準備	実施	・市 ・バス事業者 ・タクシー事業者 ・市民	・サイクル&バスライドの環境整備に係る事業を検討した。[市] ・地域と協議やワークショップを行い、まめバス新規路線やデマンド型乗合タクシー路線の導入について検討した。[市]	・サイクル&バスライドの環境整備や利用促進に係る事業を引き続き検討する。[市] ・デマンド型乗合タクシー事業の実証運行を行う。[市]
(2)バス交通空白地等の新たな移動手段の導入検討 ・地域と連携した新たな移動手段の検討										検討・準備・実施				
施策2 福祉分野等と連携した移動手段の充実														
(1)生活支援サービスの充実 ・福祉有償運送事業の展開 ・移動支援事業の充実、福祉タクシー運賃等助成事業の実施										実施・継続		・タクシー事業者 ・市民 ・事業所	・市内3事業者により、福祉有償運送事業を展開した。[事業所、市] ・障害がある方の積極的な社会参加を促進するため、移動支援事業、福祉タクシー運賃等助成事業を実施した。[市]	・福祉有償運送事業を引き続き展開いただく。[事業所、市] ・移動支援事業、福祉タクシー運賃等助成事業を引き続き実施する。[市]
(2)地域の主体的な助け合いの環境づくりの推進 ・地域支え合い運送の取組み支援										実施・継続			・市社会福祉協議会が実施する、日常生活に支援が必要な人を対象とした、地域支え合い運送の取組み支援を実施した。(学区の社会福祉協議会やまちづくり協議会が主体となり、志津南、山田、老上、老上西学区で実施している。)[市]	・引き続き、事業の継続と拡大に向けた支援を行う。[市]
施策3 広域的なバス路線の充実														
(1)隣接市と連携したバス路線網の強化 ・基幹軸となる路線バスの維持、確保 ・草津栗東守山くるとバスの運行の充実										実施・継続		・市 ・バス事業者 ・県	・平成30年10月より、くるとバス大宮循環線を守山市まで延伸した。[市] ・大津市(桐生・青山・松が丘方面)や栗東市(小柿・安養寺・金勝方面)の路線バス運行を行った。[バス事業者]	・引き続き大津市(桐生・青山・松が丘方面)や栗東市(小柿・安養寺・金勝方面)の路線バス運行を行う。[バス事業者] ・利用状況・ニーズに応じてダイヤ編成を検討[バス事業者]
(2)大津湖南エリアの公共交通の充実 ・施設間の循環等を含むバス路線の再編検討 ・輸送力の高い連節バスの活用検討										検討			・地域の需要に応じたバス再編のための乗降人数の調査装置の導入をした。[バス事業者] ・湖南エリアでの連節バスの運用・活用方法を協議[バス事業者] ・アクセス向上に向けた基礎的研究を大津と連携して実施した。[県] ・平成31年3月に、大津湖南エリア地域公共交通網形成計画を策定した。[県]	・施設間の需要に応じたバス路線の再編を検討する。[バス事業者] ・湖南エリアでの連節バスの運用・活用方法を協議継続[バス事業者] ・びわこ文化公園都市へのアクセス向上に関して検討を実施する。[県]

基本施策3 自家用車に過度に頼らない意識を育み、健幸で明るい未来につなぐ公共交通

個別施策	事業展開スケジュール									実施主体	H30・R1 取組実績	R2 取組予定	
	(前期)			(中期)			(後期)						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8				R9
施策1 モビリティ・マネジメントの推進													
(1)地域や事業所等でのモビリティ・マネジメントの推進 ・地域でのワークショップ等の開催 ・事業所モビリティマネジメントの促進 ・大学と連携した公共交通等の利用促進	実施	継続										・志津学区でワークショップを実施し、地域における移動手段を検討するとともに、公共交通の利用を促進した。[市]	-
(2)小学校等における交通環境学習の推進 ・小学校等におけるバスや電車の乗り方教室等の開催 ・課外授業等における路線バス等や鉄道の利用促進 ・交通安全教室やバリアフリー教室との連携	実施	継続										・小学校において、バスや電車の乗り方教室を開催した。(H30:2校、R1:3校)[バス事業者、県、市]	・小学校において、バスや電車の乗り方教室を引き続き開催する。(R2:1校予定)[バス事業者、県、市] ・バス協会と連携し年間通じて県内各地でバスの乗り方教室を開催する。[バス事業者]
(3)公共交通に関する情報提供の充実 ・市の広報誌やホームページの活用 ・公共交通ガイドブックの作成 ・イベント等での公共交通情報の提供	実施	継続										・まめバスマップを作成し、全戸配布やホームページへの掲載を行った。[市]	・デマンド型乗合タクシーの実証運行に際して、民間バス路線へ乗り継ぎを想定したパンフレットを作成する。[市]
(4)特徴を活かした連節バスの有効活用 ・イベント開催時等の臨時運行 ・大津湖南エリアでの活用検討	実施	継続	(一部検討)									・立命館大学シャトル及び南草津駅～パナソニック～立命館大学線を連節バスで運行。[バス事業者] ・バスイベントにおいて展示し幅広くお客様への周知を図った。[バス事業者]	・沿線大学・企業に即したダイヤ編成を再検討。[バス事業者]
施策2 いつでも誰でもが利用しやすい公共交通環境の整備													
(1)公共交通のバリアフリー化の推進 ・低床式車両(低床バス、ユニバーサルデザインタクシー)の充実 ・乗務員のバリアフリー研修の推進 ・交通案内情報の多言語化	実施	(一部検討)			実施							・まめバスおよびくるとバスにおいて、低床バス「日野ポンチョ」を導入した。[バス事業者、市]	・運行する車両の劣化状況を確認しつつ、公共交通のバリアフリー化を検討する。[バス事業者、市]
(2)バス待ち環境の整備検討 ・上屋やベンチの設置等の検討	検討	準備										・サイクル&バスライドの環境整備の検討を行った。[市] ・「南草津駅周辺交通対策検討会」において、バス待ち環境について検討した。[鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、市]	・サイクル&バスライドの環境整備の検討を行う。[市] ・駅前広場におけるバスシェルターの設置箇所等について検討する。[鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、市]
(3)バスロケーションシステムや配車アプリの導入検討【一部再掲】 ・バスロケーションシステムの導入促進 ・スマートフォンのGPS機能を活用した効率的なタクシー配車アプリの活用	検討	準備	(一部検討)									・バスロケーションシステムを一部事業者で導入。[バス事業者]	・「MaaS」等の事例研究を行い、ICT活用や自動運転技術の導入を検討する。[市] ・バスロケーションシステムを活用し遅延状況及び乗車状況を鑑みダイヤ編成に反映させる。[バス事業者]
(4)交通系ICカードの導入検討【再掲】	検討	準備										-	・R2年度中の導入予定[バス事業者]
(5)来訪者等の公共交通利用の促進 ・観光パンフレット等への公共交通情報の掲載 ・1日フリーバス等の企画乗車切符の販売検討	検討	準備										・草津市観光物産協会にて作成している観光パンフレットに公共交通機関の情報を掲載した。[市] ・滋賀県バス協会の取りまとめによるバスお出かけマップにてバス路線情報の掲載をした。[バス事業者] ・R1より大型連休中の企画切符を販売し利用促進を図った。[バス事業者]	・今後も引き続き観光パンフレット等に公共交通機関に関する情報提供を行う予定である。[市] ・公共交通利用促進に繋がるアイデアを検討する。[バス事業者] ・引き続き大型連休中の企画切符を販売し、継続して販売することで乗車券を浸透させ利用促進を図る。[バス事業者]
施策3 高齢者が運転免許証を返納しやすい環境づくり													
(1)交通安全教室の充実 ・交通安全教室等の開催 ・交通安全高齢者師範学校の開催 ・交通安全に関する情報提供	実施	継続										・交通安全指導員「わかばチーム」により、幼児や児童または高齢者を対象とした交通安全教室を開催した。[市] ・高齢者の交通安全意識の高揚を図る、交通安全高齢者師範学校を開催した。[市] ・主に老人クラブを対象とした交通安全教室を実施、また、高齢者の思いやりゾーンに玉川区を指定し、民生委員等と連携し、個別訪問を実施した。[交通管理者]	・交通安全指導員「わかばチーム」による交通安全教室を引き続き開催する。[市] ・高齢者対象の交通安全教室の継続実施、また、巡回連絡などを通じて、個別の事故防止の呼びかけも合わせて行う。[交通管理者]
(2)高齢運転者の事故防止の促進 ・免許更新時の認知機能検査の実施 ・高齢運転者の事故防止に向けた情報提供	実施	継続										・高齢運転者の事故防止に向けて、高齢交通安全指導員養成講座の実施をした。[県] ・75歳以上の運転免許証更新時において、認知機能検査の実施による運転不適格者の早期発見を行った。[交通管理者]	・登録して頂いた指導員さんを通じて、情報発信を実施する。[県] ・令和2年7月の道路交通法改正により、75歳以上の運転免許更新において、運転技能検査が導入予定であり、運転技能検査に合格しなければ、更新不可となることから、情報提供を実施する。[交通管理者]
(3)運転免許証自主返納高齢者支援制度の充実 ・高齢者運転免許証自主返納者支援サービスへの協賛店の協力依頼 ・運転免許証自主返納高齢者への支援サービスの充実 ・自主返納意識の向上に向けた広報啓発の強化	実施	継続										・まめバスにおける高齢者運転免許証自主返納者支援サービスを検討した。[市] ・滋賀県警と連携し免許返納者に対し100円割引を実施[バス事業者] ・各地の交通安全運動等で免許返納者への支援サービスの周知を図った。[県] ・昨年、525人の草津市民が運転免許証を自主返納した。(前年比+97人)[交通管理者]	・まめバスにおける高齢者運転免許証自主返納者支援サービスを引き続き検討する。[市] ・滋賀県警と連携し免許返納者に対し100円割引を実施[バス事業者] ・各地の交通安全運動等で免許返納者への支援サービスについての周知を図る。[県] ・引き続き、自主返納者に対する優遇制度(バス補助券、店舗優待等)の実施をする。